

八丈島 水産だより 1月号

2009



日の出

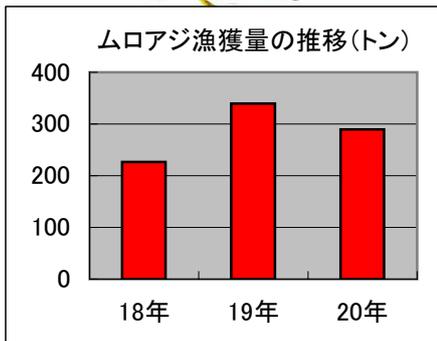


オナガの舟盛り

本年もよろしくお祈いします

お正月の二日は漁師さんの仕事始め。ご馳走を作って、親戚や仲間を呼び、漁の安全と大漁をお祈りする「船祝い」をします。お正月は、これから始まる寝る間もない程忙しい春先の漁をひかえ、つかの間の漁師さんたちの骨休みです。また、八丈町では、この時期帰省する新成人を招待して、1月5日に「成人祝賀式」が行われます。この二つのお祝いの席には、みごとな八丈産の尾長の「舟盛り」が華を添えます。

■ 昨年（さくねん）のムロアジ漁（りょう）は？



昨年（さくねん）も、順調（じゆんちよう）な水揚げ（みずあ）げとなりました。漁期（りようき）始め（はじめ）から大きめ（おおきめ）のムロアジ（むろあじ）が多く（おおく）、頭（あたま）から丸（まる）ごと（まるごと）食べられる新クサヤ（しんくさや）に（つか）使（つか）われるサイズ（サイズ）のムロアジ（むろあじ）があまり（あまり）みられ（みられ）ませんでした（ませんでした）。今年（ことし）もまた（また）、ムロアジ（むろあじ）漁（りょう）が順調（じゆんちよう）となる（なる）ことを祈（いの）ります。

■ 八丈島（はちじょうしま）のイセエビ

八丈島（はちじょうしま）では、エビ刺し網（あみ）という漁法（ぎよほう）で、10月（じゅうがつ）～2月（にがつ）までの期間（きかん）に、イセエビ（いせえび）・シマイセエビ（しまいせえび）・ゾウリエビ（ぞうりえび）等（ら）も水揚げ（みずあ）げ（げ）されます。



シマイセエビ

漁獲量（ぎよかくりよう）は、19年（じゅうく）は約（やく）170kg、20年（じゅうく）は約（やく）270kg でした（でした）。

■ 今年（ことし）のカツオ漁（りょう）とトビウオ漁（りょう）は？

今年（ことし）の黒潮（くろしお）の予想（よそう）が発表（はっぴよう）されました。カツオ（かつお）やマグロ（まぐろ）は黒潮（くろしお）の流れ（なが）に乗（の）ってや（や）ってきますので、八丈島（はちじょうしま）付近（ひきん）の黒潮（くろしお）の流れ（なが）によって水揚げ（みずあ）げも影響（えいきよう）してきます。黒潮（くろしお）は、1月（いちがつ）から6月（じゅうがつ）までは八丈島（はちじょうしま）の南（みなみ）を流（なが）れ、4月（しがつ）から5月（ごがつ）は、一時的（いちじてき）に八丈島（はちじょうしま）周辺（しゅうへん）を南（みなみ）から北（きた）へ流（なが）れる予想（よそう）になっています。

漁師（りょうし）さん達（たち）は、今年（ことし）の春（はる）の漁（りょう）のカツオ（かつお）やトビウオ（とびうお）の大漁（たいりよう）を始（はじめ）として、今年（ことし）の豊漁（ほうりよう）を祈（いの）り、心（こゝろ）も新（あたら）しに意気（いき）込んでいます（います）。